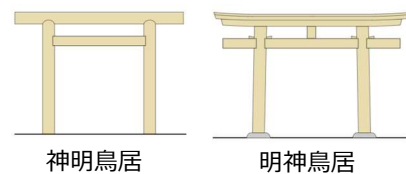




鳥居とりどり

神社にお参りをするとまず目にする鳥居。すべて同じ形のように見えますが、よく見ると少しずつ違います。形としては神明系と明神系の大きく二つに分けられるそうです。

鳥居は神社の内と外を分ける境であり、神様の領域への入り口となります。



鳥居と言えば

伏見稲荷大社「千本鳥居」

参道に立ち並ぶ鳥居は有名ですが、ご神体の稲荷山には頂上近くまで、千本どころか大小合わせて1万本以上はあるそうです。



錦天満宮の鳥居は両側のビルにささっている！

錦市場に近い錦天満宮にある

日之出稲荷神社「奴彌鳥居」

真ん中の額の両側にハの字型に屋根のようなものがはめ込まれているのが特徴。



京都市のど真ん中で輝きを放つ

御金神社「金色の鳥居」

御金神社は金・銀・銅はじめとする、あらゆる金属類の神様として親しまれています。鳥居は、祭神を象徴するかのような黄金色。



京都三珍鳥居



嵯峨嵐山めぐりの中心

野宮神社「黒木鳥居」

黒木鳥居とはクヌギの木の皮をむかずに使った鳥居のことで古代の鳥居の形式を伝えています。源氏物語の舞台としても登場する神社。

京都御苑内「池の弁天さん」

京都御苑厳島神社「唐破風鳥居」

上の横棒が屋根のようにカーブする破風型の鳥居。



太秦のパワースポット

木嶋神社「三柱鳥居」

縦の柱が三本あり、上から見ると三角形になっている鳥居。宇宙の中心説や、キリスト教の三位一体説など、神秘的な謎に包まれた場所です。養蚕技術を伝えた「秦氏」に縁が深いことから蚕ノ社とよばれます。



北野天満宮の境内社

伴氏社「中山鳥居」

菅原道真の母上を祀る社。中山鳥居という形で台座に蓮が刻まれています。



実用的な事業継続計画(BCP)の策定

■事業継続計画(BCP)とは？

BCPとは、災害や感染等で被災した際に、スピーディーに事業をリスタートするための計画です。

■なぜ、事業継続計画(BCP)は策定する必要があるのか？

BCPは

1. 企業の事業継続性を保ち、会社や社員を守るため
2. 緊急事態発生時に、迅速且つ正確な対応を行えるようにするための必須ツールです。

■事業継続計画(BCP)の策定手順

事業継続計画(BCP)の策定手順は以下の5つです。

1. 基本方針の立案
2. 中核事業・重要業務の選定
3. 被害状況の確認
4. 事前対策の実施
5. 緊急時の体制の整備

ご支援内容

フェーズ1	ご面談 ご面談により、BCP策定の流れや、当社の支援内容・スケジュールをご確認いただきます。またヒアリングを通じてBCP策定の方向性を取りまとめます。
フェーズ2	基本方針の立案 BCPを策定するに際しての基本方針を立案します。
フェーズ3	中核事業・重要業務の選定 貴社の中核事業および重要業務の洗い出し・選定を行います。
フェーズ4	被害状況の整理および自社への影響の想定 緊急事態時の被害状況および自社への影響等について、内部・外部の両面から洗い出しを行います。
フェーズ5	事前対策の検討 被害状況および自社への影響等を踏まえ、それらに関する事前対策を検討します。
フェーズ6	緊急時の体制の整備 緊急事態時に迅速かつ的確な対応ができる体制について検討します。
フェーズ7	BCP(事業継続計画)の策定 以上の検討結果を、貴社オリジナルBCP(事業継続計画)として策定します。

■くわしくはこちらのサイトをご覧ください

<https://chusho-keiei.jp/service/bcp/>



＜あとがき＞

ようやく秋も深まってきました。この時期にお寺ではよく夜間拝観が行われます。古い建物や紅葉、苔の緑がライトアップされて昼間とはまた違った趣きを感じることができます。今年もあと2ヶ月。秋から冬への移り変わりを楽しみたいものです。(木下)